

夢

navi

さかのくち

あなたと私の心の通信

冬号

vol.95 (通算112号) 令和6年2月15日

瑞宝双光章 受章おめでとうございます



中野 博美さん
(中山町)



私、中野博美は、令和5年秋の叙勲に際しまして、はからずも瑞宝双光章の栄に浴しました。皆様からご祝意を賜り厚く御礼申し上げます。

去る11月10日、厚生労働大臣の伝達を受け、引き続き皇居へ参内し天皇陛下に拝謁を賜りました。

40年余り、お身体に障がいのある方の介護やそのご家族のご相談に一生懸命取り組み、また後進の指導にも微力ながら携わってまいりました。このように永く仕事のできたのも亡き両親、急逝した夫、娘たち家族の陰日なたとなる協力の賜物と感謝しております。

今後は、この榮譽に恥じることはないよう一層精進し、夫の望みでもありました「住みよい坂口」となるようわずかなりとも皆様のご芳情に報いたいと思いますので、これからもさらなるご指導をお願い申し上げます。

地域の皆様が今後も安心して健康でお過ごしいただけることをお祈り申し上げます。



草月
SOGETSU

里山部会

11月15日(水)

メンマづくりを林野庁に支援請願

農林水産省林野庁長官室にて、越前市長、市環境農林部長、そして里山部会の内山が、長官に対して各自治体に交付されている森林環境譲与税がメンマづくり等に活用できるのかどうか、その確認と支援要請をしました。里山工房手作りの「ビールに合うメンマ」を試食していただきながら、メンマづくりが竹林整備に寄与することなどを力説。長官からは「おいしい! 歯ごたえがいいね」と太鼓判をいただき、「竹林も森林の一部、メンマづくりが森林環境整備につながることを明言すればOK」とのこと。



林野庁長官室にて
(右から青山長官・
越前市長・内山)

これで、この税の用途について懐疑的になっている自治体も堂々とメンマ事業にも使えることの確約を得たことになり、全国のメンマづくりや竹林整備活動に弾みがつくことが期待されます。

福祉部会

11月27日(日)

先進地視察

視察先は人口約150人の天引区(京都府南丹市)。集落が存続できないとの危機感から『天引区の活性化と未来を考える会』(京都府南丹市)を結成し、便利屋さんやお買い物支援、そして天引むくむく市(月2回)などに取り組み、住民が安心して暮らせる環境づくりをおこなっています。地区を輝かせるには、みんなが集まって楽しくおしゃべりすること。坂口地区でもそんな『場』を作り、みんなが繋がる元気な地域を目指したいと思います。



福祉ネットワーク会議 11月11日(土)



市社会福祉課、社会福祉協議会、しから地域包括支援センターの方にお越しいただき、「支え合い」について学びあいました。誰もが自分らしく、自分の住む地域で安心して暮らしていくための地域づくりを目指しましょう。

さかのくち 活性化協議会だより



坂口どじょうレストラン 10月21日(土) 11月12日(日)

今年度も2回開催した「どじょうレストラン」。今までにない異常気象のため、水不足と高温により地元産のドジョウは残念ながら無く、2回とも依然視察で伺った「やすぎドジョウ生産組合」(鳥根県)より購入しました。

コウノトリが舞い降りる環境や、安心安全な食、地産地消についてなど、坂口の文化や歴史も織り交ぜながらお話し、なぜ「どじょうレストラン」を開催するのかをご理解していただきました。

令和6年度は、坂口産のドジョウが復活し味わっていただけることを願っています。



坂口PR

区長会

防災訓練 11月5日(日)

地震を想定した今回の防災訓練は、対策本部を設置し、各町内の第一次避難所に集合した住民の被災状況確認と避難者チェックの報告の連絡の状況を把握をしました。

その後地区代表者が坂口小学校体育館に集り市防災危機管理課からの非常食や非常持出品についての説明を受けました。災害はいつ起こるかわかりません。日頃から身の安全を守る対策を心がけていきましょう。



環境部会

獣害対策のプロ!

環境部会の活動は獣害との闘いです。矢良巢岳の急な登山道の場所に間伐材で階段を設置したところイノシシに壊され急遽プラ擬木で対応したり、R4年度は子どもたちと取り組んでいる田んぼにシカが入り収穫できなかったため、R5年度は念入りにネットや電気柵を設置したりしました。獣害対策のため、1つの活動には他の地区の2倍・3倍の作業量があります。この地道な活動があることで里地里山が守れることを分かって頂ければと思います。



登山道整備(H29年度)



坂口地区 スポーツ協会

12月9日(土) ボーリング大会

鯖江アルプラザボウルでスポーツ協会ボウリング大会を開催しました。ハンディキャップ制で順位を決定するので、皆さんが上位目指して真剣に、そして楽しく投球していました。「昔ならもっとスピードがでてたのに…」「もっとピンが弾けていたのに…」「もっとまっすぐ投げれていたのに…」と体力のおとろえを感じながら楽しんでおられる方もいました。来年もたくさんの方の参加をお待ちしています。

- 1 中野 貴友さん
- 2 田中 涼大さん
- 3 坂東 光太さん



冬季スポーツ大会 1月21日(日)

坂口校体育館で冬遊まつり冬季スポーツ大会を開催しました。誰でもが楽しめるニュースポーツ競技で、SMボウリング・輪投げ・ストラックアウト・カーリング・スカットボールの5種目で得点を競いました。地区内外から70名ほどの方に参加いただき、とてもにぎやかで楽しい大会になりました。

1 坂井 希彩さん

3 山岡 登志男さん

2 山下 勝さん

アビ 大塚 千紘さん





市の環境学習施設の拠点として2001年にオープンしたエコビレッジ交流センター。

毎年恒例の「ホタルをみようナイトウォーク」・「しめ飾りをつくろう」は「また?」「もう分かっているよ」と思われるほど、ホタルがいる環境についてや、しめ飾りの謂れなどをお話し、多くの方々に参加いただいています。

今年度は、「生きもの目線で今夏の猛暑を考える」(10/28)、「バイオ炭はなぜ地球にやさしいの?」(11/18)という講座を開催しました。しかし、「環境について考える」という内容になると参加者も少なく参加していただく難しさを感じます。

『脱酸素』、『SDGs』などの環境用語があふれている昨今、難しく考えず、まずはエコビレッジの講座にご参加ください。



力を合わせて

シリーズ 坂口ことば

連載 その73

痛痒に関する方言 その2

今回も「痛痒」に関する感覚を表す坂口の方言を取り上げます。

痛さを表す表現のうち、共通語の「ひりひり」にあたる言い方は坂口でも同じヒリヒリで、「海水浴で日に焼けて、背中ヒリヒリする」のように言います。ヒリヒリは日焼けや火傷による痛さのほか、刺激のあるものを食べたり飲んだりして喉が痛むような場合にも使います。ヒリヒリする感覚を表すヒリツクという動詞もありました。

共通語の「ちくちく」にあたる感覚を表す言い方には同じチクチクがあり、「セーター着ると体にチクチクする」のように言いますが、チクチクに対して肌を刺激する程度が小さい場合は、「むずがゆい」に近い意味のハシカイも使います。子どもの頃、稲刈りの手伝いで稲を担いだり脱穀の手伝いをしたりしてハシカイ思いをしたものです。

(加藤和夫
金沢大学名誉教授)



サポート さかぐち

移動支援事業

毎週(第1~第4)木曜・金曜に運行している『うららのりねえへのGO!!』。3月からは第2・4水曜日の運行を予定しています。



本格運行にむけての試行期間での取り組みです。今なら無料で乗車できますのでぜひ体験していただき、ご意見・ご要望などお聞かせください。

辰年生まれに インタビュー

田中 和夫さん 昭和39年生 60歳
咲奈さん 平成24年生 12歳
湯谷町(下中津原町)



早いもので2月の誕生日で5回目の辰年です。いよいよ60代の仲間入りになりました。現在は孫7人います。内孫の咲奈 12歳も同じ辰年です。

振り返ると父親(忠雄)が60歳で亡くなり、それから31年が、現在家族8人で、内孫3人に元気をもらって毎日過ごしています。

道端 正樹さん(下中津原町)
昭和15年生 84歳



私は今年で7回目の年男を迎えますが元気で過せている事に感謝しています。数年前ある人から職業を聞かれ「農業をしています」と答えると「それは長生きできますよ」と言われました。その通り草刈り等農作業に従事し足腰丈夫で気力もそれなりにあります。出来る範囲内で体を動かす事が元気で生きていける秘訣かと思っています。

向井 心春さん(勾当原町)
平成24年生 12歳



わたしのほう角は二つあります。一つ目は六年生になるので、みんなを引っ張るリーダーシップを発して小さい子のお手本になることです。二つ目は卓球の練習をがんばって強くなることです。去年の夏休みから卓球を始めました。色々な技を覚えていくのが楽しいです。いつも送りむかえをしてくれて、お父さん、お母さんありがとう!! 楽しい辰年にしたいです。

渡邊 暁見さん
(勾当原町)
昭和27年生 72歳



家族が元気で新年を迎えることができました。70代の人生を人とのご縁を大切にしながら、楽しみをみつけて歩みたいと思います。

三好 響生さん
(下別所町)
平成24年生 12歳



今年は正月から地しんがあっぴびっくりしました。いつまでもどこにいても、みんなけんこうでわらわある毎日をすごしたいです。

藤下 壽磨さん(中津原町)
昭和27年生 72歳

今年72歳、既に26,000日余りを歩んできました。「この一年」「何年先」といった楽観的で横着な考えは通用しない年齢になっています。この一日は在り得ることの得難い一日、休み休みでも一日一汗で歩いて行きたいと思っています。

坂口公民館より



11月23日(木・祝)

認知症キッズサポーター養成講座(合宿通学事業)

坂口小学校14名(1年~6年)が参加した合宿通学事業。今回はしから地域包括支援センターの小林さん・榎本さんによるお話『認知症ってなあに?』、高齢者疑似体験用具を装着した『おじいちゃんおばあちゃんになってみよう』、移動支援事業『うららのりねえへのGO!!』の乗車体験とスーパーへのお買い物体験、そして坂口校調理員さんをアドバイザーに『いつもとちがうちょっと厚めのホットケーキ』を作りました。

高齢者が多い坂口地区の現状を教えてもらいながら、認知症の方や困っているお年寄りに会った時の対応の方法、今年度から始まった移動を支援してくれているドライバーの活動などを体験し、自分ができる行動や支え合う大切さについて学ぶことが出来ました。

ご協力いただいた振興会福祉部会・サポートさかぐちの皆さん、ありがとうございました。



みんなであそぶね!

親子クリスマス会・3歳児虫歯の無い子表彰

12月3日(日)



幼児から中学生、保護者等60名が参加し、今年度も賑やかに和やかに開催しました。

田村佳子氏(小川美苗氏・今村里美氏)の“琴の演奏”と音色に合わせた“絵本の読み聞かせ”をしっとりと楽しみました。普段目にする事のない“琴”を見て、それが奏でるクリスマスメロディやさんぽ(トトロ)、紅蓮華(鬼滅の刃)に感動しました。コンサート終了後にはおなじみのクリスマス工作ではフェルトを使った簡単豪華なクリスマスツリーを作り、それぞれ個性あふれる素敵な作品が出来上がりました。

今回も中学生が企画・準備・説明・進行しての“福笑い”“的あてゲーム”を行い、みんなで和気あいあいとした中、大変盛り上がりしました。女性会や中学生の協力で、笑顔と笑い声の絶えない幸せな時間になりました。ありがとうございました。

坂口地区の現状
現在366人 130世帯
昨年380人 132世帯
購読会員33名
(1月1日現在)

インスタ
フォロー
してね!



原稿やメール
投稿はこちら
からどうぞ!



【発行】坂口地区うららの町づくり振興会・坂口公民館
【編集】さかぐち広報委員会
〒915-1225 越前市湯谷町24-18-1
坂口公民館内
TEL・FAX : 0778 (28) 1046
【E-mail】振興会 : urara1046@gmail.com
公民館 : sakaguchi_ko@city.echizen.lg.jp
【印刷】(有)ワープロセンターホープ

2~5月

坂口公民館・エコビレッジ交流センター行事予定

2月23日(金・祝)	みんなで支え合う 地域づくりのつどい	4月13日(土)	パイオ炭をつくろう
3月3日(日)	ふるさとを考えるつどい	4月14日(日)	里山の春を見つけよう
3月5日(火)	配食サービス④ (80歳以上の方対象)	4月20日(土)	里山ピザをつくろう
3月9日(土)	コウノトリのあれこれ	4月27日(土)	きれいに撮ろう 里山風景Part 1
3月23日(土)	鳥をみつけながら 里山ウォーク	5月11日(土)	新緑の里山ウォーク
		5月12日(日)	田植え体験
		5月19日(日)	アースディえちぜん2024

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止・変更の場合があります。

夢一輪

明けましておめでとうございます。
元旦に能登半島地震があり、被災された方に心からお見舞い申し上げます。

相当揺れて恐かったですね。防災の備えを再認識しました。新幹線開業にも影響しそうですね。

今年も「夢 navi さかのくち」で、皆様との交流を深めたいと思いますので、宜しくお願い致します。
J・M



白山駐在所からのお知らせ

冬期間の運転に注意

道路状況、運転条件の悪い時期だからこそ、より慎重な運転を心がけ、交通事故防止に努めて下さい。

注意1 屋根雪を落として走りましょう

注意2 ブラックアイス(濡れた路面がスケートリンクのように凍結している状態)

注意3 トンネル出口、すれ違い時

冬期間はブラックアイスが発生します。特に気温の下がる早朝・深夜や山間の日陰道路で発生しやすいので十分気をつけて下さい。また、トンネル出口付近では減速して、道路状況の変化に対応できるようにしましょう。車間距離を十分取ること、無理せず停車して対向車が通り過ぎるのを待つことも重要です。

越前警察署 ☎0778-24-0110

坂口公民館よりお知らせ

毎月第3日曜日を休館とします

第3日曜日は、「家庭の日」です。そこで、家族とのふれあいの時間を過ごしていただくために、試行的に令和6年4月から9月までの6ヶ月の間、第3日曜日を休館とさせていただきます。

皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

おくやみ

ご冥福をお祈りいたします。

清水 繁子さん(92才) 中山町 R6・1・7

2024

新年

おめでとうございます

坂口地区うららの町づくり振興会会長 山岡 登志男

新年あけましておめでとうございます。

元旦に二〇二四年能登半島地震が発生し、皆さん驚かれた事と思います。皆さん、日頃は坂口全体行事にご協力いただき、ありがとうございます。また、一月七日には坂口小学校三年教室において、新成人六名のつどいがありました。

昨年度は、移動支援事業について二十回程度会議を開催し、リース車「のりねえ」のGO!!」を受け取りました。

毎週木曜日・金曜日に買い物や市役所、病院等へ運行しております。今後は第二・四水曜日に運行を予定しています。

ドライバーの育成には、十九名が講習を受講し、ご協力いただいております。

坂口小中学校生徒の行事等では地区の皆さまがドライバーとなってサポートをしていただいております。いつもありがとうございます。

坂口公民館改修工事は、三月中旬には完成を予定しています。四月からは改修された事務所・図書室・講堂・診療所、二階にはトイレも増築されます。今後は、快適に行事等に利用できると思います。

令和六年も引き続き、皆様のご協力をお願い申し上げます。



ふ 冬遊まつり

1月21日(日)



どんど祭



新春開運くじまき



新春開運運試しじゃんけん



一斉放水



冬のクイズラリー



二十歳のみなさん おめでとうございます

◆ 内山 百合香さん (中山町)

この度は、無事成人を迎えることができ嬉しく思っています。二十年という時間は長いようでとても短く、姉の振袖姿を羨ましく思ったのが最近のように感じます。中学の頃とは違い、自分で考えて行動する事の大変さ、思うように行かない厳しさを痛感しました。まだまだ子供な私ですが、周りに助けをもらいながら自分の人生を楽しんで生きていこうと思います。坂口で伸び伸びと育ててくれた家族に感謝し、これから少しずつ恩返しができるような大人になりたいです。

◆ 田中 武尊さん (勾当原町)

この度は無事成人を迎えることができ嬉しく思っています。今まで支えてくださった全ての皆様に、感謝いたします。特に、その時々で私の意見を尊重し、後悔のない人生を送らせてくれた家族には感謝があります。私は現在、医師を目指して福井の大学で勉強させていただいています。遠い将来になると思いますが、この大好きな坂口地区の医療に携わり、お世話になった方々へ恩返しすることが、私の夢です。この夢を大切に、また、皆様への感謝を忘れずにこれからの人生を歩んでいきます。

◆ 渡邊 樹里さん (勾当原町)

このたびは、二十歳という節目の年を迎えることができ嬉しく思っています。今まで支えてくださった家族はもちろん、友達や先生、地域の方々に感謝いたします。本当にありがとうございました。まだまだ未熟な自分ですが自分なりに、今まで助けてもらった分、少しでも皆様に恩返しできればと思います。これからは、成人としての自覚を常に忘れず、責任ある行動とこれからの人生を楽しんでいこうと思います。

◆ 北山 正太郎さん (下中津原町)

この度は、無事成人を迎えることができました。これまで、私たちを育て下さった皆様に感謝致します。この六人で過ごした学校生活は、大切な思い出であり、今でも鮮明に覚えています。成人するにあたって、更なる困難に直面することもありますが、仲間と共に乗り越えていきたいと思います。お世話になった坂口に恩返しができるよう、今はまだ勉強に励んでおります。これからも温かく見守って頂きますと嬉しく思います。

◆ 山岡 亮太郎さん (中津原町)

この度は、成人という大切な節目を迎えることができ、とても光栄です。これまでの人生で経験した喜びや困難、成長の瞬間は数え切れません。家族や友人、教育者に支えられ今日の自分があります。これからも周りの人に恩返しできるように努力したいと思っております。成人とは、自由と責任を手に入れることでもあります。誠実さと思いやりを忘れず、人々との繋がりを大切に、社会貢献に努めていきたいと思います。

◆ 三輪 恵聖さん (中津原町)

この程、成人式を迎えられたことを光栄に思います。自助努力してきた事物には多くの方々の支えがあったのだと痛感しています。事の成否は因縁であり、周囲の環境が強く影響し、その中で努力し続けられるかが重要です。爾今はこのまでの恩恵の報いとして、何かに尽力したり、研鑽する人を援助していこうと思っております。またそれは道義的責任であると思っております。これからの世が平和を維持し、平等に近づけるよう協力しながら成すべき事に精進致します。



◆ 國久 繁雄先生 (坂口校校長)

百合香さん、武尊さん、樹里さん、亮太郎さん、恵聖さん、正太郎さん、立派に成人されたことをとても嬉しく思っています。おめでとう。小学校の頃から、六人が仲良く六色の個性をうまかくかみ合っていて、毎日楽しくおしゃべりしてましたね。中学校に入ると、部活の行き帰りに必ず校長室の前で、大きな声のあいさつをしてくれました。あの六人が自分の進むべき道をみつけ、夢にむかって羽ばたき始めました。自分を信じ堂々と歩いていってください。いつまでも応援しています。

◆ 錦織 珠美先生 (中学校一・二年担任)

二十歳を迎えた皆さん、この度は誠におめでとうございます。皆さんと過ごしたの、坂口分校での中学校生活三年間のことです。青春真っ只中の皆さんの成長を近くで見守ることができたのは大変素晴らしい思い出になりました。勉強に部活に忙しい日々、時に悩み、時に声を上げて笑った瞬間を、今でも昨日の日のように思い出せます。あどけない子供らしさの中に、責任感あふれる大人の一面ももった記憶の中の皆さんが、今、どのように成長したのか、お会いできるのが本当に楽しみです。そして、これから社会に羽ばたいていく皆さんの活躍も大変楽しみにしています。皆さんの心と体を豊かに、健やかに育てて下さった家族の皆様、坂口地区の方々と同様に、陰ながらではありますが、心から応援しています。がんばってください！

◆ 網田 友紀先生 (中学校英語教師)

二十歳を迎えた坂口っ子の皆さん、ご成人おめでとうございます。皆さんどの学校生活はとも楽しかったです。聡明でポテンシャルの高い皆さんの能力をどう伸ばしていくべきか、日々先生方と話し合っていたことを思い出します。先日皆さんにお会いした時、誠実さ、優しさは以前と変わらず、また、一人一人の言葉から自分の人生をしっかり切り拓いていこうとする決意を感じ、とても頼もしく感じました。これからもずっと応援したいと強く思いました。今後の皆さんの活躍を祈っております。

◆ 谷口 康男先生 (中学校三年担任)

二十歳を迎えた皆さん、おめでとうございます。中学校卒業後、さらに多くの人と出会い、つながり、そして経験を積み重ねて、心身共に大きく成長したことと思います。人や地域とのつながりが大事なのは、心こもった挨拶や感謝の気持ち、相手のことを考えた言動です。今後も、一生に一度の「今」、人や地域とのつながり「絆」を大切に、自分を見失わず強い意志(勇氣)を持ち続け、自分の目標(夢)に向かって「挑戦！」していきましょう。

◆ 竹内 博教先生 (小学校担任)

御成人おめでとうございます。八年ぶりに再会したあなたたちは、外見こそ大きく変わっていましたが、心は純粋でますますぐままま安心してました。地域の皆さんと豊かな自然に囲まれて育ったことを忘れずに、ますます大きく飛躍してください。そして、将来の坂口を担う若人となってください。保護者(だった)皆様、本當におめでとうございます。この子たちに出会えたことは、大きな財産になっています。ありがとうございます。

◆ 田中 陽子先生 (小学校担任)

初めて教室に入った日、少し緊張しながら真つぐ眼差しで話を聞いていたみなさんの姿を、今でもよく覚えています。あれから十年経ったのです。何事にも一生懸命なみなさんとの授業はとても楽しかったです。いろいろな行事も素晴らしいですね。そして、休み時間も楽しかった！連合音楽会も、心に強く残っています。初めは合奏での発表でした。歌が聴きやすかったです。でも、「歌を発表しよう。」の呼びかけに同意してくれ、次の年から合唱に取り組みしました。高学年として後輩たちを引っ張り、美しく豊かな歌声をホールいっぱい響かせてくれました。あの感動は忘れられません。本當にすこかった！みなさんとの出会いは、今も私の心の支えになっています。ありがとうございます。これからの人生、いろいろなことがあると思いますが、人との出会いを大切に、自分らしく自分の道を進んでいってくださいね。いつも、いつでも応援しています。二十歳、おめでとう！

